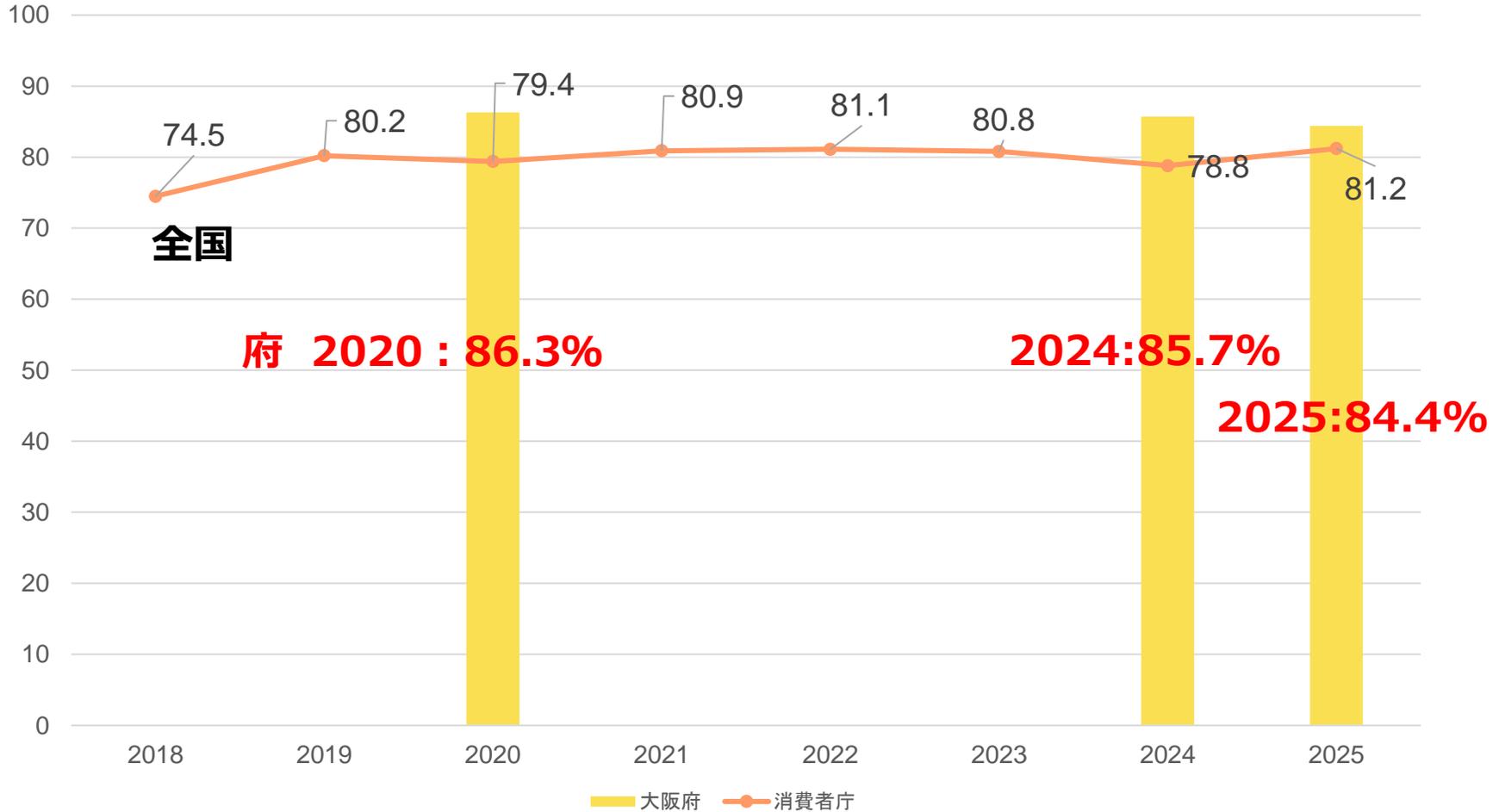


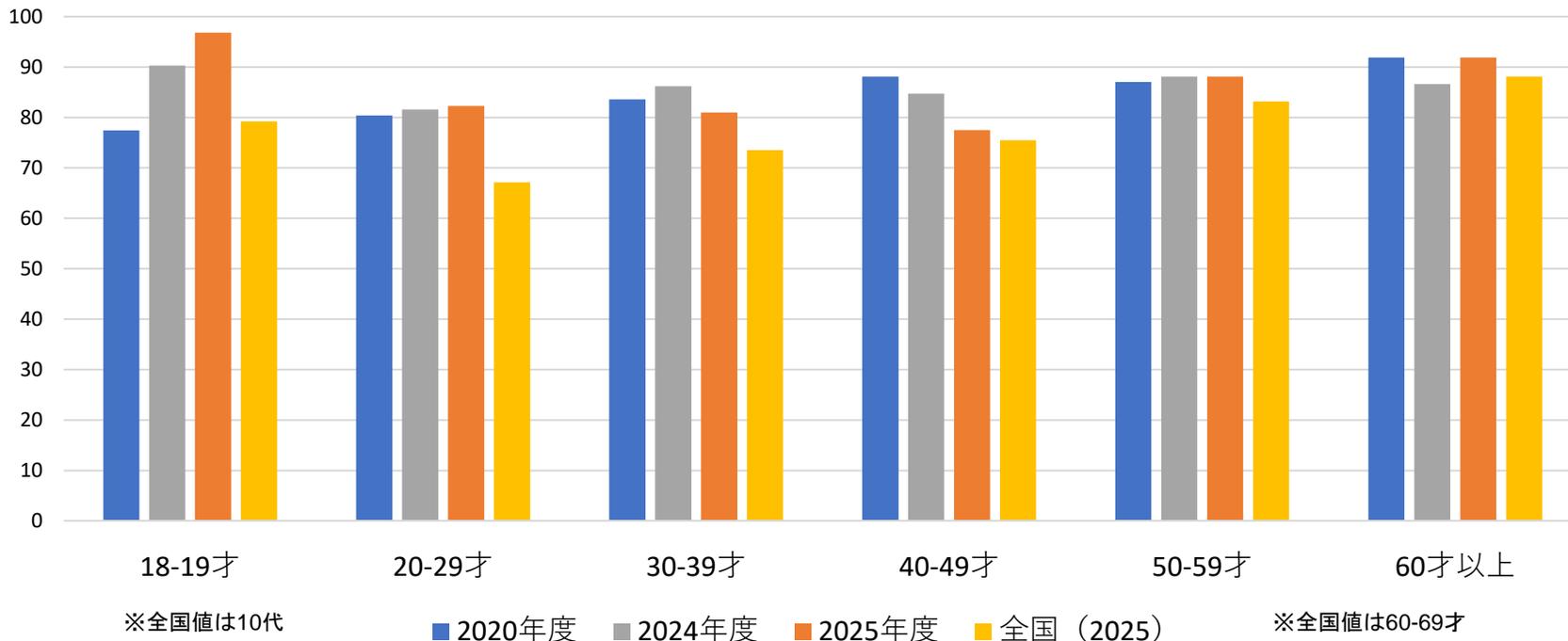
1 食品ロス問題の認知度

大阪府「食品ロス削減に関する府民の意識調査」
・調査対象は、大阪府在住の男女1000人。(人口構成比)
・実施期間：11月(前回調査は12月)



大阪府 年代別の認知度の変化について

参考資料2

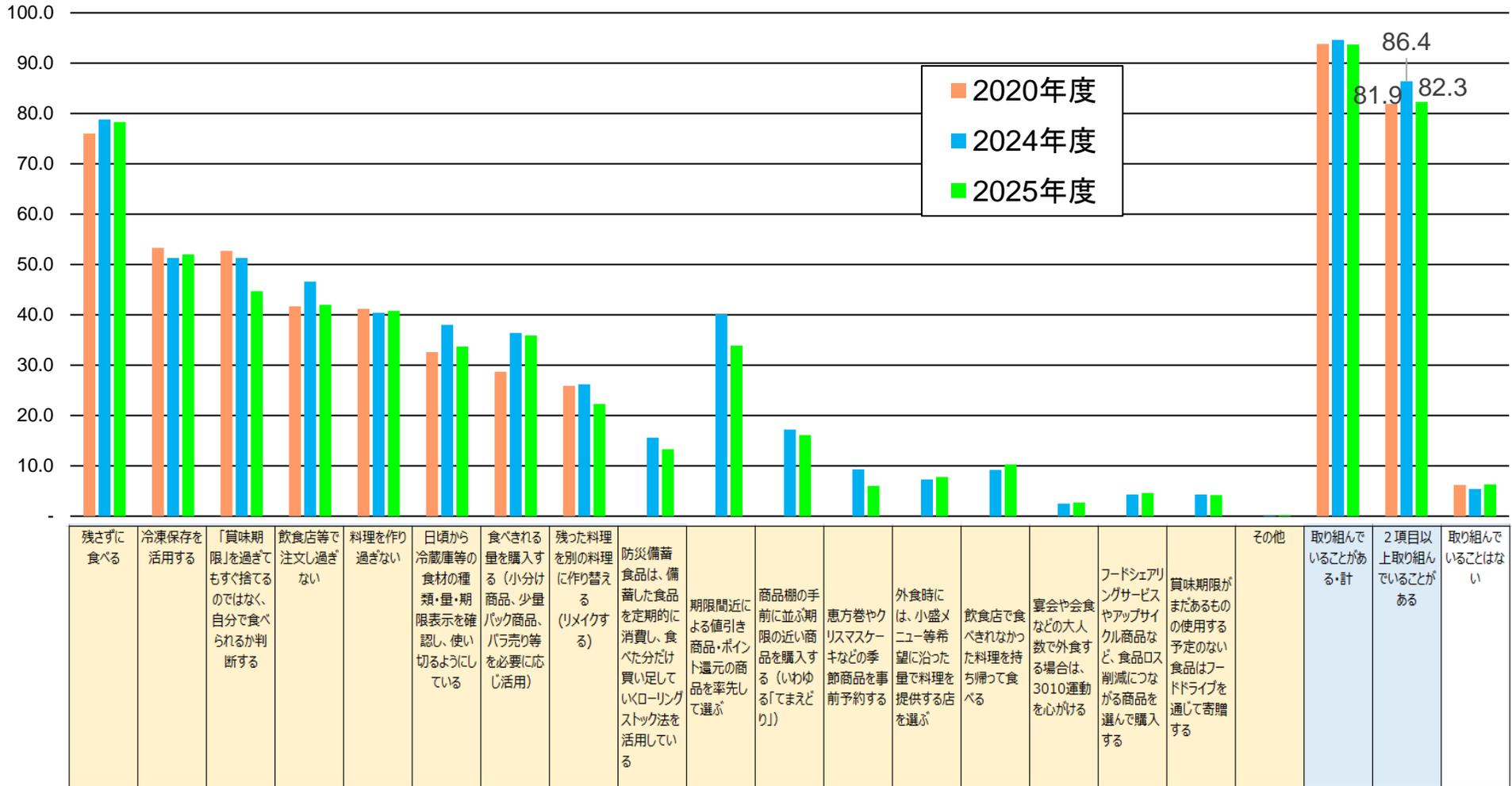


	2020年度	2024年度	2025年度	全国(2025)
18-19才	77.4	90.3	96.8	79.2
20-29才	80.4	81.6	82.3	67.1
30-39才	83.6	86.2	81	73.5
40-49才	88.1	84.7	77.5	75.5
50-59才	87	88.1	88.1	83.2
60才以上	91.9	86.6	91.9	88.1

全国値 出典: 令和6年度第2回 消費生活意識調査

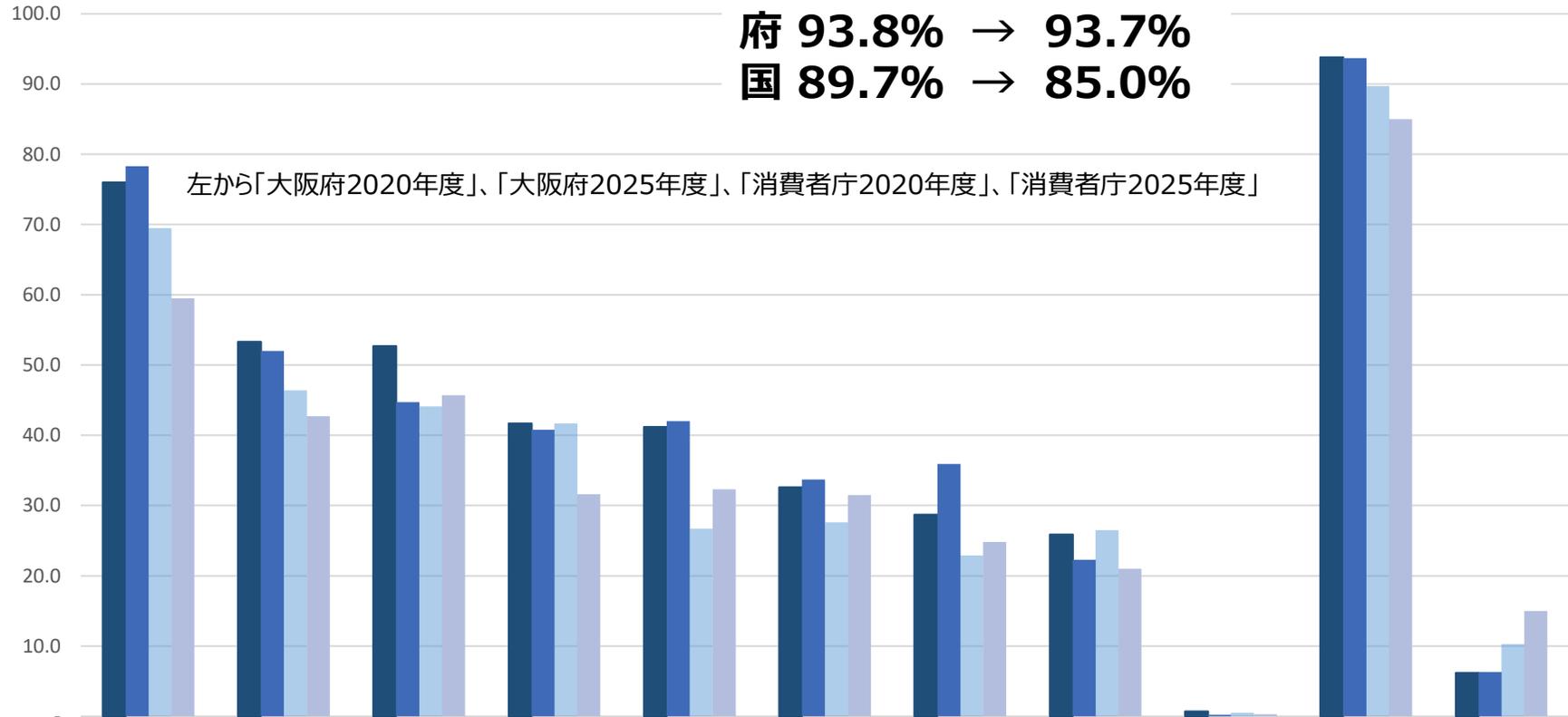
大阪府 意識調査結果(2025)

2 食品ロス削減に取り組む人の割合



大阪府 意識調査結果(2025)

2 食品ロス削減に取り組む人の割合(既存項目の比較)



残さずに食べる	冷凍保存を活用する	「賞味期限」を過ぎてもすぐ捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	料理を作り過ぎない	飲食店等で注文し過ぎない	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認し、使い切るようにしている	食べきれぬ量を購入する(小分け商品、少量パック商品、バラ売り等を必要に応じ活用)	残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)	その他	取り組んでいることがある・計	取り組んでいることはない
---------	-----------	-------------------------------------	-----------	--------------	---------------------------------------	--	--------------------------	-----	----------------	--------------

※大阪府と消費者庁とで項目名の表記に若干の違いがあります。

大阪府計画の目標の進捗

2030年度までに、食品ロス削減のための複数（2項目以上）の取組を行う府民の割合を90%とする。（認知層、非認知層含む）

